

平成 30 年度
(2018 年度)

山口市青少年交流訪問団訪問記

2018年8月1日(水)～8月5日(日)

中国・山東省済南市



山口市

はじめに

中国・済南市は山東省の省都で、政治・経済・文化の中心として発展し、現在も交通の要衝として成長を続けているまちです。1982年、山口県と山東省が友好提携をしたことから省都済南市と県都山口市が、1985年に友好都市となりました。それ以来、長い年月にわたって、教育をはじめ、文化、経済、環境など、色々な分野でお互いに交流を深め、近年は、青少年のコミュニケーション能力を育み、国際感覚豊かなひとづくりを推進していくことを目的に、小・中学校を団員とする青少年交流団の派遣を行っているところです。

今年度も、チャレンジ精神旺盛な小学生5名、中学生2名が団員として4泊5日の日程で済南市を訪問いたしました。

今回は、「音楽」をテーマに、歌の発表やリコーダーの演奏など様々なプログラムを通して交流を深めました。言葉が通じなくても、音楽は人と人の心をつないでくれる不思議な力を持っており、お互いの距離を縮めながら、絆の深まった交流ができたものと思っております。また、家庭でのホームステイも体験し、積極的にコミュニケーションをとる勇気やホストファミリーの温かいおもてなしに対する感謝の思いなど、自分自身を成長させる糧となる貴重な経験を積むことができました。

これは、団員一人ひとりが思い切って一歩を踏み出したからこそ体験できたものであって、このような経験は、視野を世界に向けると同時に、将来の夢を広げる大きな原動力になるものと確信しています。

団員の皆さんには、今後も実際に身をもって体験することの大切さを忘れることなく、果敢に挑戦し続け、将来、国際社会において活躍されることを心から願っています。

この訪問記は、参加した子どもたち自身が目で見たり感じたこと、訪問中の成果などをより多くの市民の皆様にお伝えするために作成したものです。子供たちの柔軟な感性で躍動する中国・済南市の「今」をご覧いただくとともに、地域における国際化推進の一助になることを期待しております。

最後に、本市の訪問団を温かく迎えてくださいました済南市外事弁公室、済南市青少年宮の皆様、また、団員を快く送り出してくださいました御家族の皆様、所属する学校の先生方、そして派遣事業にお力添えをいただきましたすべての皆様はこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



平成30年12月

山口市長 渡辺純忠

目次

はじめに（市長あいさつ）	1
目次	2
日程	3
訪問団団員名簿	4
研修会の日程とそのようす	5
出発のあいさつ	
杉田 実結・内山はとね	6
伊藤 榎子・大木 桜	7
林 万智・八鍬 青羽	8
横尾 妃花	9
リレー日記	
8月1日（水）八鍬	10
8月2日（木）杉田・内山	11
8月3日（金）大木・伊藤	12
8月4日（土）林	13
8月5日（日）横尾	13
活動のようす	
①青少年宮にて音楽交流	14
②青少年宮にて書道体験	15
③山東省博物館、趵突泉・大明湖見学	16
④青少年宮で各種体験	17
⑤曲阜の三孔視察	18
⑥山東省料理に挑戦	19
⑦谢谢！ホストファミリー	20
⑧済南と団員たち	21
訪問レポート	
杉田 実結	22・23
内山 はとね	24・25
伊藤 榎子	26・27
大木 桜	28・29
林 万智	30・31
八鍬 青羽	32・33
横尾 妃花	34・35
団員訪問記	
杉田 実結	36
内山 はとね	37
伊藤 榎子	38
大木 桜	39
林 万智	40
八鍬 青羽	41
横尾 妃花	42
岡本 壽之（団長）	43
戸崎 みゆき（通訳）	44
山崎 里恵（市国際交流課長）	45
お世話になったみなさん、編集後記	46

日程

8月1日(水)

新山口駅→博多駅→福岡空港—
→韓国・仁川経由→済南空港
済南市青少年宮へ
ホームファミリーとの対面
→ホームステイへ

いざ、済南市へ出発！（福岡空港）▶



8月2日(木)

【午前】済南市青少年宮で音楽交流

- ・山口市の訪問団から歌と演奏の披露
(歌：世界中のこどもたちが・ふるさと・ドレミのうた・幸せなら手を
たたこう、演奏：となりのトトロ)

【午後】山東博物館見学

【夕方】済南市人民政府外事僑務弁公室主催の歓迎夕食会

8月3日(金)

【午前】「泉の都」済南の名所見学

- ・大明湖・趵突泉

【午後】済南青少年宮でクライミング体験・馬術体験・切り絵体験

8月4日(土)

【終日】孔子のふるさと「曲阜」へ

- ・孔府・孔廟・孔林見学

8月5日(日)

【午前】青少年宮で武術演出
見学

【午後】済南空港→韓国・
仁川空港→福岡空港—
→博多駅→新山口駅

おつかれさまでした!!



▲ 高層ビルが際立つ済南市の街並み

訪問団団員名簿

子どもたち

杉田 実結 (すぎた みゆ)	山口市立大内中学校1年	★ジュニアリーダー
内山はとね (うちやま はとね)	山口市立大内中学校1年	☆副ジュニアリーダー
伊藤 榎子 (いとう まきこ)	山口市立宮野小学校6年	
大木 桜 (おおぎ さくら)	山口市立宮野小学校6年	
林 万智 (はやし まち)	山口市立白石小学校6年	
八鍬 青羽 (やくわ あおば)	山口市立白石小学校6年	
横尾 妃花 (よこお ひな)	山口市立大海小学校6年	

随員職員

岡本 壽之	山口市立小郡南小学校 校長
戸崎 みゆき	山口市仁保地域交流センター (通訳)
山崎 里恵	山口市国際交流課 課長



平成30年7月19日 (木) 出発式 (山口市役所山口総合支所)

研修会の日程とそのようす

第1回研修会 6月13日(水)18:00~19:30

自己紹介、リーダー選出
日程や旅行についての説明
持ち物などの注意点
健康調査

(山口市健康増進課 飯室保健師)

写真撮影・自己紹介文作成



第2回研修会 6月24日(日)9:00~12:00



中国についてのお話

(山口県国際交流員 黄芝さん)

- ・中国の文化・習慣について
- ・美しい中国・孔子の故郷 山東省
- ・泉の都 済南市・中国の生活・習慣
- ・簡単な中国語会話

済南市のようすについて

(山口市総務部政策管理室 丸本華代
平成28年度済南市へ派遣)

第3回研修会

7月1日(日)9:30~12:00

交流事業について

- ・音楽交流の歌や演奏の練習

訪問記の作成について

中国語による自己紹介の練習

第4回研修会及び出発式

7月19日(木)17:30~19:30

出発式

- ・自己紹介
- ・ジュニアリーダーあいさつ 等

出発前の最終説明

交流事業について

第5回研修会 7月25日(木)18:30~20:00

音楽交流の歌や演奏の最終練習

事後研修会 8月20日(日)9:00~12:00

済南での5日間を振り返って…訪問記の作成



出発のあいさつ



大内中学校1年 杉田 実結



今回、訪問団のリーダーを務める杉田です。私は、外国に行くのは二回目ですが、中国は初めてです。だから、とても楽しみです。言葉が通じないことに対する不安もあります。今回のテーマは「音楽」なので、小さい頃から習っているピアノを活かし、言葉以外の方法でも中国の人とたくさん交流を図りたいです。そして、山口市の代表として山口の魅力伝えるとともに、中国の歴史や文化をしっかりと学びたいです。



..... 大内中学校1年 内山 はとね

今回、私は副リーダーを務めさせていただきます。旅行といえば、私にとっては家族で行くもの、という感覚でしかありませんでした。でも、このホームステイをきっかけに、自立した生活を送れるようになったり、もっと積極的に話したりできるようになりたいと思います。日本と中国の文化の違いを知ったり、音楽交流を楽しんだりすることも大きな目標ですが、最終的には、日本に帰ってきた時に出発前の自分よりも成長できている、ということが、なによりも一番の目標です。この目標を達成するために、精一杯頑張ります。そして、笑顔で帰ってきます。





..... 宮野小学校6年 伊藤 楓子



私は、今年のテーマが音楽ということで、とてもワクワク・ドキドキしている一方、心の中では、初めての飛行機や海外に不安も多くあります。でも、その不安をふり切っているいろいろなことにチャレンジし、とにかく楽しんできたいと思います。その中で特に楽しみなことは、音楽の交流とホームステイ先の家族の方との交流です。たくさんお話しているいろいろなことを持ち帰ってきたいです。



宮野小学校6年 大木 桜

私が中国で楽しみなことは、ホームステイと、音楽交流と、日本とのちがいをを見つけることです。ホームステイでは、いっしょに中華料理を作ったり、折り紙をしたりしたいです。音楽交流では、同年代の子と、仲良くなったり、曲のおもしろさを感じてきたいです。日本とのちがいは、トイレなどは聞いていますが、まだ、それ以外にも、たくさんあると思います。様々な発見をし、友達をたくさんつくって、この5日間を、楽しみたいです。



出発のあいさつ



白石小学校6年 林 万智



私は、中国に行くのは初めてです。それに海外に行くのも初めてなので、今は不安な気持ちが少しだけあります。

今回は、ホームステイ先の家族と仲良くなり、山口のことを知ってもらいたいです。中国の文化や、有名な場所を知り、山口に帰ってきたらみんなに紹介できるぐらい、中国で学んできたいです。

今年の交流のテーマは「音楽」です。日本の歌や曲で、中国のみんなに楽しんでもらえるよう、自分も楽しく、笑顔で交流したいです。

みんなと仲良くして、思い出を作りたいです。



..... 白石小学校6年 八鍬 青羽

私は、今回訪問団員の1人として、中国の山東省済南市に行くことになり、とてもうれしく楽しみにしています。しかし、自分の思いが言葉の通じない中国で、相手に伝わるかどうか不安な気持ちもあります。だから中国ではホームステイ先の方々とコミュニケーションなどを積極的にしてみたり、中国の文化や生活を日本と比べて、新しい事を発見してみたいです。そして、日本に帰って来たら、家族や、友達などに中国のすばらしい所や、日本とのちがいなどを、話したいと思います。





..... 大海小学校6年 横尾 妃花



私は、中国に行くのは、初めてで、楽しみでもあるけど、不安ときんちょうもあります。私が目標とすることは、ホストファミリーの人たちと仲良くなることです。私は、中国語が全然しゃべれないけれど、コミュニケーションをとることができればいいなと思います。また、音楽は私の好きな科目でもあるので、音楽を通して、中国の子どもたちと楽しい時間を過ごしたいと思います。



大明湖敷地内にある毛沢東直筆の碑

リレー日記

8月1日水曜日のこと

私は、中国はもちろん外国に行くのが初めてで、中国がどんなところかという楽しみと、私の想いがちゃんと伝わるかという不安がありました。特に一人でホームステイする時にどうなるかが不安でした。中国に着いて、ホストファミリーの方に会ってみると、とても優しく、私が中国語も英語もしゃべれず困っていると、スマホの通訳アプリで話しかけてくれました。そして、白石泉等の観光に連れて行ってくださり、すぐに仲良くなれました。

八鍬 青羽



8月2日木曜日のこと

杉田 実結

今日は、音楽交流、書道体験、博物館見学がありました。

音楽交流では、「幸せなら手をたたこう」の動作で息があまり合わなかったが、ホストファミリーのみなさんが笑顔になれたので、よかったです。書道体験では「龍」という字を3パターン書きました。



中国の書体で書いたので難しかったです。間で行った昼食の時、岡本団長がオクラ料理を食べて「辛い」と言ったりアクションが面白く、つられてオクラを食べた青羽ちゃんを見て、挑戦者だなと思いました。博物館は、中も外もスケールが大きくてビックリしました。

内山 はとね

今日は、主に音楽交流と書道体験をしました。音楽交流では予想以上にきんちょうしてしまって、思うようにいきませんでした。でも、その時の精一杯の力を頑張っておし切りました。終わったらとてもほっとしました。書道体験では、漢の時代の字を書きました。文字は「龍」で難しかったです。



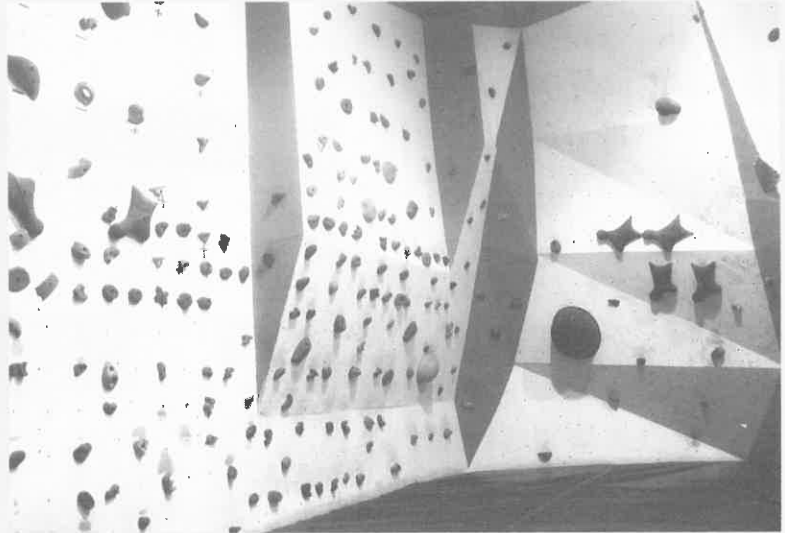
昔の字を知ることができて良かったです。この交流を通して、言葉は通じなくても気持ちを伝えられる喜びなどを感じることができました。今日は大きな行事がたくさんあって、とても充実した1日でした!!

リレー日記

8月3日金曜日のこと

伊藤 榎子

午前中は、^{ほうとつせん}趺突泉と^{だいめいこ}大明湖の見学に行きました。大明湖では、船に乗り、とても気持ち良かったです。午後は、乗馬体験・クライミング体験・切り絵・ねんど体験をしました。クライミングは、



すごく楽しくて、あっという間に時間が過ぎました。この1日の間に、観光と4つの体験ができて、本当に楽しかったです。とても充実した3日目を過ごすことができ、良かったなと思います。

大木 桜

大明湖を見学に行きました。大明湖にうかぶ建物を、下から見上げると、すごく迫力がありました。やなぎがゆれる音がすごく涼し気でした。午後からは、乗馬などの体験をしました。大きい馬に乗りました。軽い気持ちで乗ったので、振動がすごくて、びっくりしてしまいました。クライミングや、切り絵もしました。切り絵は、^{スー}蘇^{イ-ジャン}芝杉ちゃんが、毎晩のように教えてくれたので、スムーズにでき、とても楽しかったです。最高の一日になりました。



8月4日土曜日のこと

林 万智

今日は、孔子の故郷の曲阜にバスで二時間かけて行きました。最初に行った孔府と孔廟には、たくさんの門や建物や木があって、迷子になりそうでした。



午後、孔林に行く時は、馬車に乗りました。とても乗りごちがよ

かったです。世界文化遺産なので観光客がとても多かったです。

済南市にもどってから、最後の夕食は山口のみんなで食べました。たくさん笑って、とても楽しかったです。

8月5日日曜日のこと

横尾 妃花

今日は、中国にいられる最後の日でした。私は、朝食に水ぎょうざを作りました。ホームステイ先のお母さんが、ぎょうざの皮を作り、ジャンクアンイ江冠頤（写真右）と私が具を包みました。日本ではぎょうざの皮を自分で作らないのに、中国では、お母さんが作っていたのでびっくりしました。私は、最初、具を包むのがうまくできなかったけどホームステイ先のお父さんが教えてくれたので上手に包めるようになりました。みんなで作ったぎょうざは、とてもおいしかったです。私は、5日間一緒に生活したホストファミリーの人がとてもやさしくてうれしかったです。これからもメールでやり取りしたいなと思いました。



① 青少年宮にて音楽交流



大勢の観客を前に、緊張のピアノ伴奏。



リコーダーも息ぴったり！



かなり緊張しました。



ファミリーのみんなの素晴らしい歌声も聞くことができました。



ホストファミリーの参加でようやく笑顔が！

② 青少年宮にて書道体験



漢字の成り立ちも教わりました。



日本とは筆の運び方に違いがありました。

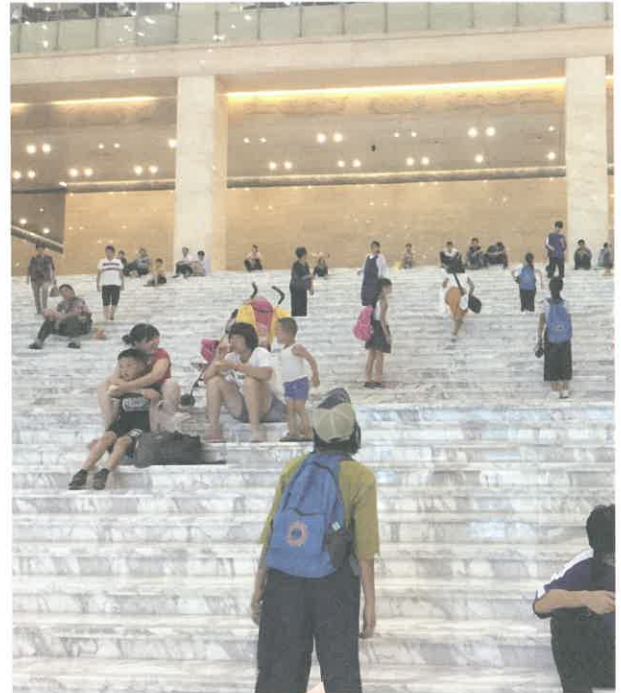


③ 山東省博物館、趵突泉・大明湖見学



施設の大きさにビックリ。

展示もダイナミックでした。



思わず大階段でジャンケンゲーム。



暑さと広さに少しお疲れ気味。



やっぱり中国はスケールが違う！



市街地に広がる大明湖。

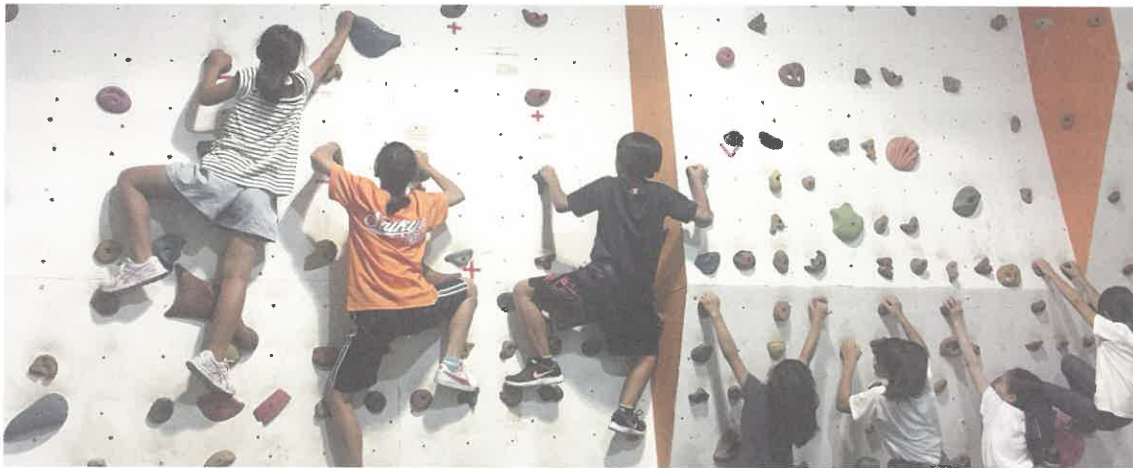
④ 青少年宮で各種体験



青少年宮の地下にある馬術練習場。



余裕の笑顔!?



みんなでクライミングにも挑戦。



パンダの小妻粉人形を作りました

伝統的な切り絵を体験。



作品と一緒に記念撮影。



⑤ 曲阜の三孔視察



歴代皇帝が歩いた道を歩きました。



孔子の神霊を祀る孔廟で、みんなでお参り。



孔府にて。

孔子一族のお墓の「孔林」は、とにかく広がった。



先生にグミをいただきました。

⑥ 山東省料理に挑戦



⑦ 谢谢！ホストファミリー



⑧ 濟南と団員たち





← 私のの中で一番ビックリした乗り物。このバスは、電車のようにつなぎめになっていておもしろいと思います。



石
ドリアこの山積み。初めて目の前で見て、はく力満点ですごかったです。

初めての馬車乗り。ゆっくり走っていたので、済南市の町並みがたくさん見れました。

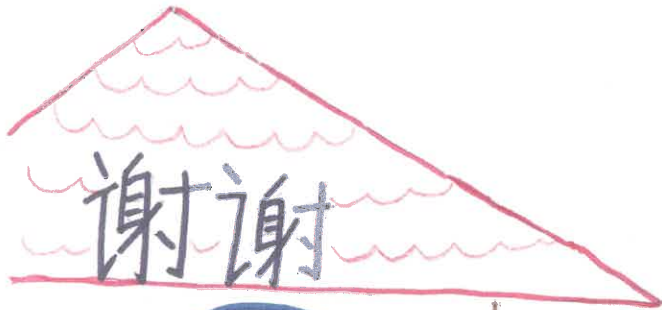
→
ほすがあたり一面に広がって、蓮の花がアクセントに咲いていて、すごくきれいでした。



110-タとブタ
の肉まんが
カワイイ! ☆



5回目の朝ごはん。
最後の日だから、
ゴージャスに作っ
てくれました。
うれしかったです!



你
好
“オチー”



やさしく接し
てくれたホストフ
ァミリーのみなさん。
たくさんいろいろ
なところにつれ
ててくれました!

屋台に行くと、とても長
いホントを全部は食べ
れなかったけど、すごくお
いしかったです!



ホームステイさ
せていただいた
ホストファミリー
のお家。大き
なテレビで映
画を見て、と
ても楽しかったです!



第一天 1日目

これから始まるホームステイに胸をふくらませながら、お世話になる、ホストファミリーと対面しました。

第二天 2日目

今回のテーマの「音楽」を通じ、言葉以外のコミュニケーション方法を学びました。同時に、中国の音楽を知ることもできました。



第三天 3日目

大明湖、趵突泉を見学しました。さすが泉の街！美しかったです。この後、楽しみにしていた、乗馬とクライミングをしました。あと、切り絵もしました。



第四天 4日目

孔府、孔廟、孔林を見学しました。長時間のバス移動では、歌を歌ったり、話をしたり、楽しかったです。孔子の偉大さを感じることもできました。





ある日の朝食。

上から、しぼりだしクッキー。

太陽形のケチャップ。

ブルーベリージャム入りのパン、
チャーパンです。

好吃!

このお姫様のようなベッドで
伊藤さんと2人で寝ました。
とてもすてきな部屋で、
感動しました。



小学5年生の
錦亮くん
ジヤオ



最初予定されていたホスト
ファミリーとの一枚。少ししか
会えなかったけれど、とても
良くてくれました。

⇒ 谢谢



第五天 5日目

青少年宮でとった一枚。5日間
お世話になりました。灼华
ちゃんは言葉が通じなくて
困っている私に、積極的に
話しかけてくれました。



小学4年生の
灼华ちゃん
ジュオホア

I LOVE

谢谢

中国

5日間

お世話に
なりました!



褚灼华



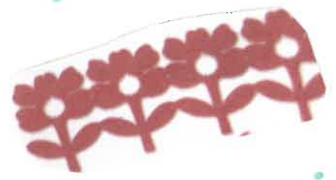
大明湖



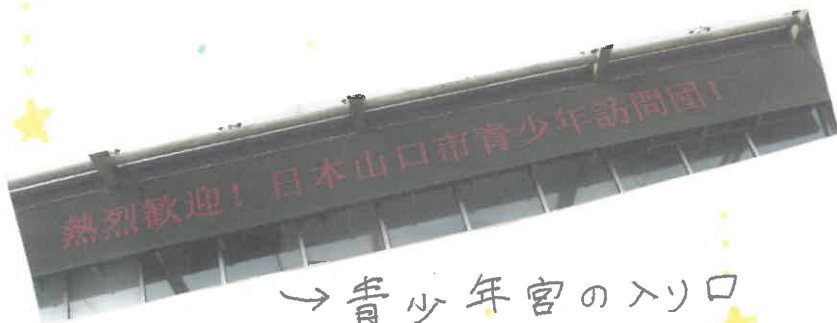
はすがとてもキレイだ。た。



曲阜を走っている
馬車



6
他にもたくさんいた。



→ 青少年宮の入り口



← かわいいチョコ
コレートや
キャンデー



中国のスーパー
おかし売り場

← ホストファミリー
からのプレゼント



ホストファミリー
からいただきました。
ました。



出色

苏艺杉は、
すごく切り絵が
上手です。



→ 青少年宮から
ここまで走て来た
汗たぐのお父さん
みんなはタクシーで来た。

精彩



お母さんが
かみを結んで
くれました。



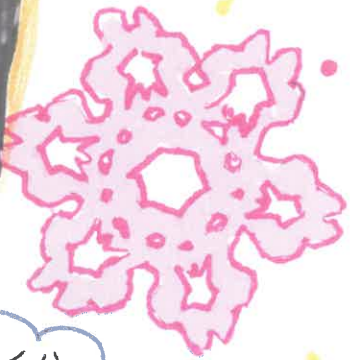
私のお気に
入りの一枚

お母さんが作る料理は縁起物。

おいしい

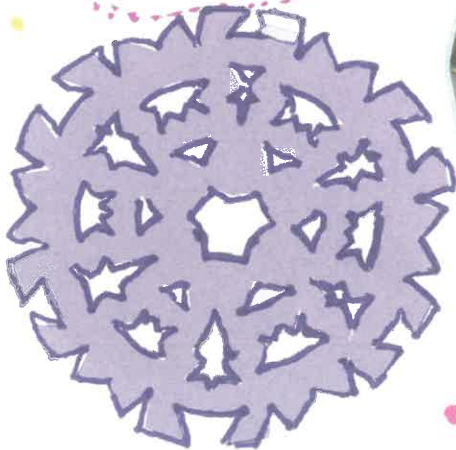


水餃子をつくり
ました。



谢谢

好吃。



初日
無り物事件
後の一枚

凉快



← 初めて乗った
飛行機
空は、とても
きれいだった。

初めての中国 →
信号機が
日本とちがう!



車とバイクが
いっぱい!



↑ 高いビル
がいっぱい

馬車に乗ったよ。 →
乗り心地は最高!

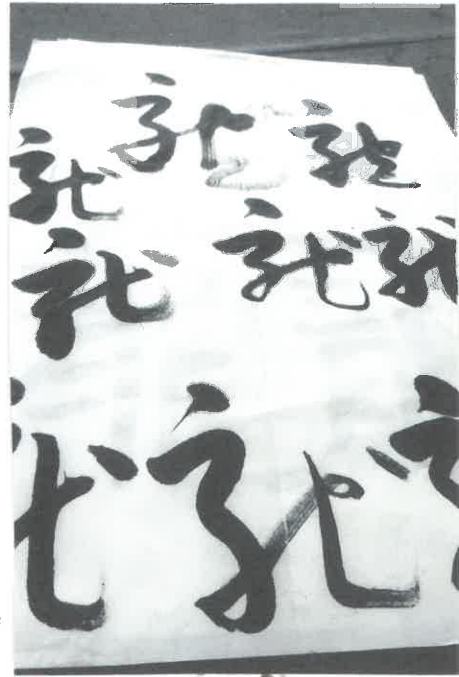




中国の名所
大明湖
↓



ホストファミリーの
王媛ちゃん



とてもやさしくしてくれました!

中国のご飯は、
たくさん種類が、
次々出てきたよ。



中国の文字
筆で書くのは、
むずかしかった

初めての!
済南市の思い出!



孔子君

気に入った
観光地



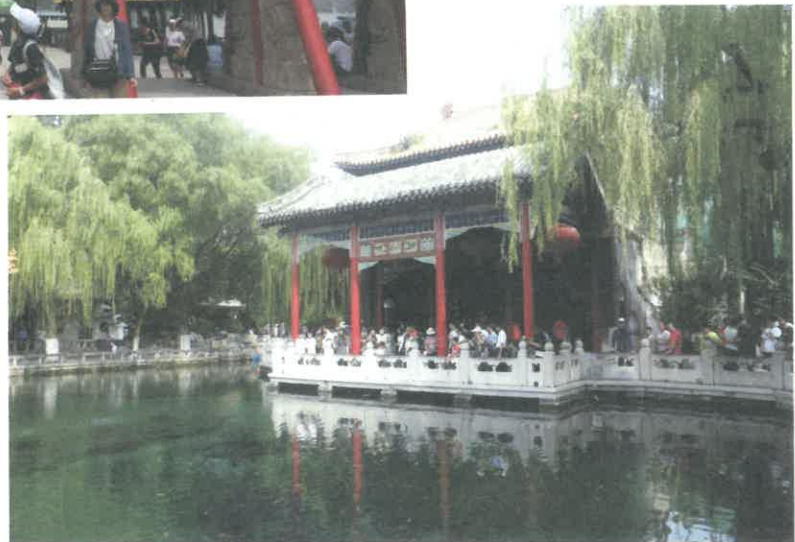
大明湖 (ハスの葉がめっちゃ
多かった)
↓



↑
ハスの花



泉 (湧き水)
↓ 魚入り





おいしかった食べ物
ベスト3!!

マンゴーがの、てる
スイーツ

2位



おくら(たれ) 1位



3位
パン



ホストファミリーとの思い出

とても優しいホストファミリーでもた。
私のかみの毛もかおかしてくれて
うれしかったです。



オガニー
江冠 さん
10才



みんなで折り紙を
しました。
絵を見ただけで折れてて
すごかったです。



オセロ

みんなで食事

- ・わさび入りソーメン
- ・はるさめ入りホタテ
- ・蒸したサツマイモと南瓜
- ・桜えびとブロッコリー



中国での食事



お店でのご飯



コーラ



甘いお茶



とんこつラーメンに似てた



5日目
水ぎょうざ作り
ひだを作るのが
難しかった。
ねぎたっぷり
おいしかった。

団員訪問記

■ ありがとう！中国

大内中学校1年 杉田 実結

今回、訪問団の団員として中国済南市に行った。初日の8月1日朝起きたときからすごく緊張し、言葉、食事等、色々と不安を抱え、飛行機に乗った。現地に着くと広い道路、高層ビル、走り抜ける車が鳴らす大きなクラクションの音、そして街にあふれる人、自分の想像していた中国のイメージをはるかに超えるもので「ビックリ！」と言う感情が湧き上がった。青少年宮に着くと、入り口には「熱烈歓迎！日本山口市青少年訪問団」の大きな看板が掲げてあり感激した。ホストファミリーとの対面もすませ、一緒に家までドキドキしながら行った。4階建のアパートの家の中はとてもきれいで、私の部屋は壁紙が水色、とても気に入った。家族は、イケメンのお父さん、髪が腰まであるお母さん、それからピアノを弾くぽっちゃり型体型のフェイ君。携帯の翻訳機を使って日本語変換で色々と話しかけてくれ、私もその携帯に日本語で返事を書くと、中国語変換してくれる。このようなやり取りで家族と会話ができるとうれしく安心した。夕方からは、皆で外出。初めて食べる中国本場料理はどれを食べても美味しく出てきた料理のほとんどを食べた。



翌日から、今回訪問の主目的である音楽交流。団員全員での練習は十分ではなかったが、本番では最後まで歌いきることができた。また青少年宮の子ども達も二胡や歌で歓迎してくれた。言葉が分からなくても音楽で気持ちが伝わるということを実感できた。青少年宮では、乗馬やボルダリングの体験もした。初心者にもわかる丁寧な指導で初めて馬の背中にのって歩けたときはうれしかった。

ホームステイ中は、夕方から家族で色々な場所に連れて行ってもらった。済南市で一番大きなショッピングモールと映画館に行き日本の話題作「万引き家族」をみんなで見た。またゲームセンターではVRのゲームで一緒に対戦した。夜の街にはたくさんの方がいた。中国の人は、涼しくなった夜に遊びに出るようで、私も体験させてもらって嬉しかった。

翌日の孔子博物館にはバスで長距離を移動した。社会科の勉強で習っていた孔子の生まれた地で、様々な孔子の事を知ることができ勉強になった。

今回の済南市の訪問交流を通じて、温かいホストファミリーと一緒に過ごすことができ、中国のことを色々と知ることができた。人々はとても親切。また、一所懸命に物事に取り組む姿勢を学んだ。街に活気が満ちており、元気がある。料理も豊富で、みんなよく食べる。アニメをはじめとした日本の文化もたくさん入っている。とても身近な国に感じた。最初は言葉の壁があると思っただけけれど、新しい技術で乗り越えられる。少しの勇気があるかどうか。今回の交流を通じて、視野が広がった。お世話をいただいたたくさんの皆さんに感謝し、これからは活かしていきたい。



第2の家族との出会い

大内中学校1年 内山 はとね



海外に行くのを、ためらっていた私を、今回のホームステイにさそってくれたのが、リーダーの杉田さんです。しかも、このホームステイに参加したことで、海外の魅力に気づき、これからも海外に行きたいと思えました。

無事、青少年宮につくと、自分のホストスチューデントである李錦尧^{リジンヤオ}くんがいないことに驚きました。いろいろ事情があって、私は急きよ、

伊藤さんの所のホストファミリーの方にお世話になることになりました。そのスチューデントの女の子は、翻訳アプリで私達に積極的に話しかけてくれたし、気配りも素晴らしくとても小学4年生とは思えませんでした。ホストファミリーの温かさのおかげで、これからのホームステイが楽しみになった1日目でした。

2、3、4日目は中国の方々と交流したり、実際に観光地を巡り、中国、それから済南の文化に触れ、親しみを持つことができました。このような行事を通して、中国の方々とも仲良くなれたし、日本の訪問団7人の絆も深まったと思います。最初は学校が違って全く話していなかった人とも、日本という島国を離れ、広い世界へと旅立つといった同じ目的を持ち、協力することで、7人のあいだに笑顔が増えました。具体的には、朝、青少年宮に集まったときに、「昨日、何を食べた?」とか、「夜、どこかに連れていったもらった?」と聞きあって、いろいろな答えがあって、会話がはずむようになったことです。

そんな楽しい毎日を過ごしているうちに、とうとうホストファミリーと一緒にいられる最後の夜になりました。それまでの4日間は外食から帰ってきて、お風呂に入ったらもう寝る、というスケジュールでしたが、この日は特別でした。いつものように、おそくに帰ってきたのに、アイロンビーズ・マーブリング・習字までしました。アイロンビーズは今までに使った形跡がなく、私達のために用意してくださった気がしました。マーブリングは翻訳アプリを通して、ていねいにやり方を説明してくれました。遊んでいるうちに時間が過ぎ、寝たのは12時すぎでした。最初予定されていたホストファミリーが夜おそくにお別れを言いに来てくれました。2才の女の子が最後まで手を振る姿が、可愛かったです。

そして、ホストファミリーと別れる日がきました。最後は「ふるさと」を歌ってお別れをしました。笑顔で別れたはずなのに、昼食のお店で泣いてしまいました。山口に帰ると、静けさがあって、より寂しさが増しました。

私は、親元を離れたことはありませんでしたが、今回の訪問で少し「自立」を覚えることができました。今では、この夏出会ったホストファミリーは第2の家族だと思っています。そして今、人生で1番の思い出は?と聞かれたら絶対に、ホームステイ!と答えます。

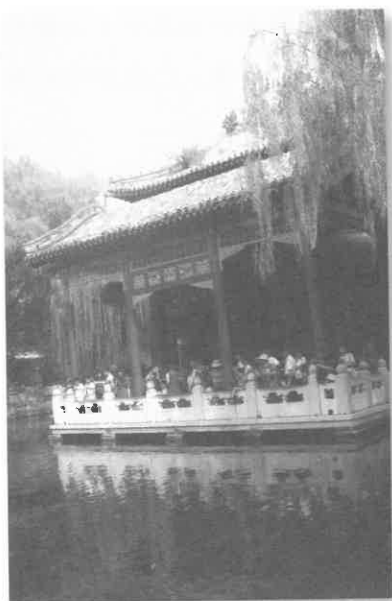


団員訪問記

■ 5日間の経験

宮野小学校6年 伊藤 槇子

私は、改めて交流訪問団として、中国に行って良かったと思います。この5日間を通して、乗馬やクライミングなど、きちょうな体験をさせてもらったり、訪問団のみんなと仲良くなれた



たりしたからです。一日一日があっという間で、5日目はすぐやって来ました。とても充実した5日間だったと思います。

済南は、私の思っていた以上に都会で、空港から出た時から、青少年宮まではおどろきの連続でした。道路からあふれ出すほどのバイクや自転車、高くそびえ立つビル・マンションにおどろきながらも、「もし、これから何か起きたらどうしよう」、「ホストファミリーの方々とどう話せばいいのだろう」と、不安も多くありました。でも、ホストファミリーの方々は、とてもやさしくて、スマホのほんやくアプリを使ったり、ジェスチャーをしたりして、なんとか、5日間過ごすことができて良かったです。

一日目は、青少年宮についてすぐ、ホストファミリーの方と面会しました。とてもやさしくて、スーツケースを持ってくれました。夜は、横尾さんたちといっしょにバーベキュー屋さんにつれていってもらいました。たくさんの量の食事が出てきて、すぐおなかいっぱいになりました。でも、少なくなったら、どんどん入れられるのにびっくりしました。

2つ目は、音楽交流がありました。「ドレミのうた」を心配していたけど、ちゃんとひけたので良かったです。「幸せなら手をたたこう」は、ホストファミリーの子とやりました。^{チュー・ジュエホア}褚灼华ちゃんがとても楽しそうにやってくれていたのが、うれしかったです。



3日目は、午前中に趵突泉と大明湖に行きました。船に乗り、とても気持ち良かったです。午後からは、乗馬体験・クライミング体験・切り絵体験が、ありました。どれもおもしろくて、あっという間に時間がたっていきました。

4日目は、孔子に関する場所の見学に行きました。馬車が、ふつうに車道を走っていて、びっくりしました。

5日目は、武術演技の見学がありました。みんなとても上手で、すごかったです。最後のお別れのとき、ふるさとを歌いました。別れるのが、とてもさびしかったです。日本に帰ってきたとき、帰ってこられてうれしいけど、中国が恋しくなりました。

この5日間で経験したことは、きっと一生忘れないと思います。この経験を、これから生活に生かしていけることができればいいなと思いました。

私は、これから、ずっと中国のことを大好きでいたいです。

私の宝物

宮野小学校6年 大木 桜

この旅は、生まれて初めてのことでただけでした。楽しみなことがたくさんありましたが、不安なこともありました。困った時は、仲間が助けてくれました。

一番楽しみで一番不安だったのが、ホームステイでした。済南市に着いて、ホストファミリーと会った後、大明湖に連れて行ってもらいました。そこで、最初の事件はおきたのです。大明湖で乗り物に乗った時に、係員に怒鳴られたのです。何を言われているのか分からない私に、^{スイーシェン}蘇艺杉が簡単な英語で係員が言っていることを教えてくれました。私とその乗り物の安全ベルトの上に座っていたので、ベルトを締める事が出来ず、立つように注意されていたのでした。この時は、蘇艺杉の英語で解決できましたが、私は、「謝謝。」というのが精一杯でした。夜、家に帰ってから、家族みんなで折り紙や切り絵を一緒にして、一緒にたくさん笑ったので、緊張が少しほぐれました。



次の日は、楽しみにしていた音楽交流の日で、朝からすごくハイテンションでした。しかし、ここで二度目の事件です。朝食後に蘇艺杉が、ジェスチャーで歩く仕草をしてくれたので、私はてっきり散歩に出かけるのかと勘違いしてしまい、カメラだけを持って車に乗りました。すると、気がついたら、長いドライブになっていて、青少年宮に着いていました。時間は気にしていましたが、まさか青少年宮に向かっているとは思わず、着いてから、リコーダーなどを忘れていないことに気が付きました。ジェスチャーで必死に説明したら、ホストファミリーや青少年宮の方が翻訳アプリを使って、私の言っていることを理解しようとしてくれました。結局、お父さんがリコーダーを取りに帰ってくれ、音楽交流の始まりの時間も遅らせてしまいました。私のためにみんなが動いてくれて、無事に音楽交流を終えることができました。皆さん、本当にごめんなさい、そして、ありがとうございました。

お母さんが作ってくれる料理は、最高においしかったです。毎回、品数が多くどれから食べていいか分からないくらいでした。私のお気に入りの料理は、揚げ餃子でした。家族みんなで水餃子も作りました。はじめは、私のうまいかない餃子を見て、「なかなかいいね。」と笑われました。お父さんが手をもって一緒に包んでくれたので、コツがつかめてだんだん上手にできるようになりました。自分で包んだ水餃子はすごくおいしかったです。



毎晩、寝るまでの間、家族と折り紙をする時間が私の一番のお気に入りの時間でした。私は、7枚の折り紙で折る万華鏡などを教え、蘇艺杉は、切り絵を教えてくれました。切り絵は複雑に切ると、よりきれいに出来上がることを教えてくれました。蘇艺杉とは、5日間一緒に過ごしましたが、別れが来るのが早すぎです。でも、大丈夫です。私は、いつか絶対蘇艺杉に会いに行きますから。

団員訪問記

初めて行った中国

白石小学校6年 林 万智



私は、中国に行くことが決まった時、とても不安な気持ちがあったけど、中国に無事とう着して、少しだけ不安な気持ちが無くなりました。

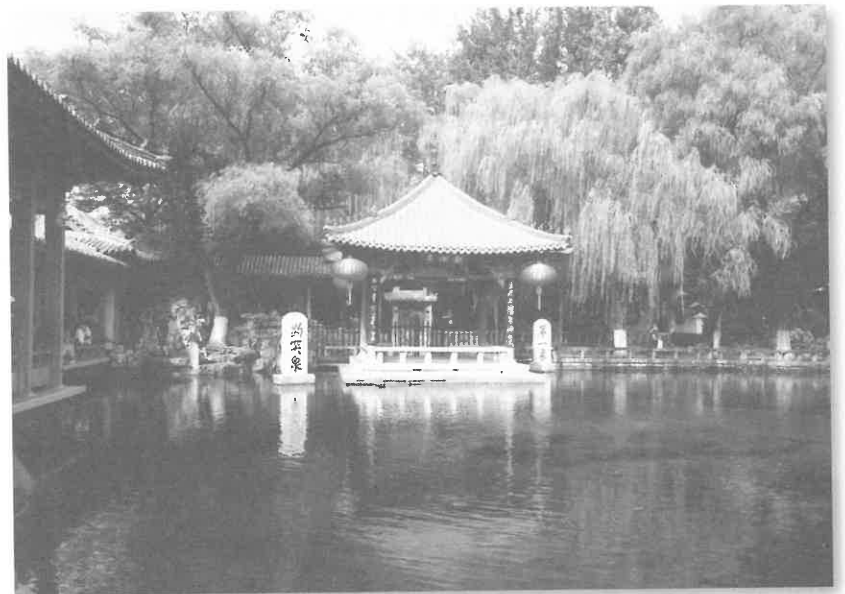
空港に着いてバスに乗った時、周りのタクシーなどがクラクションを何度も鳴らしていて、車もバイクもとても多くてびっくりしました。信号の見方も分からなくて、ホストファミリーに教えてもらいました。

ホストファミリーのみんなに会った時、どう接していいのか分からなかったけど、私が困っていると優しく話しかけてくれて、とてもうれしかったです。ホストファ

ミリーの家では、ジェンガをしたり、日本のアニメを見たりしていました。最後の日には、スーツケースの荷物を一緒にきれいに詰めてくれました。優しくしてもらって、別れるのがとても悲しかったです。

中国の食事は、甘いのも辛いのも色々な料理が次々と出てきて、とてもおどろきました。日本では食べられないめずらしいものがたくさんありました。三日目に、ホストファミリーが日本のラーメン屋さんに連れて行ってくれました。ちょっと中国風の味でした。

中国に行って、言葉が伝わらなくてもジェスチャーで伝わるということや、スマートフォンのほん訳機能を使って伝え合うことが出来ることを知りました。なので自分のしてほしいことを伝えることが出来ました。ホストファミリーに親切にもらって、私もこれから外国のお友達とふれあうことがあったら、言葉をかけたりジェスチャーを使って、自分から積極的に関わりたいです。



孔子の故郷に行って学んだり、青少年宮で色々な経験をしました。今回、中国に行ってみるまでは何も知らないままだったけど、行ってみたらとてもいい所で、出来るならもう一回行ってみたいと思いました。

■ 中国文化にふれて

白石小学校6年 八鍬 青羽

私は初めての外国旅行で不安がありました。しかも中国のことをよく知らないで危険な国ではないかというイメージがありました。

実際に中国に着いてみると、車やバイク、自転車などが入り乱れて走っているだけでなく、クラクションの音もすごくてびっくりしました。また街にはたくさんの高層マンションが建っていて、山口では見られない景色でした。

青少年宮でホストファミリーと対面しました。お父さんとお母さん、9歳の女の子の3人家族でした。中国語で話しかけられたので、何を言われているのか全く分からず、5日間過ごせるか心配になりました。でも、スマホの通訳アプリを使って会話ができるようにしてくれたので、心配はすぐなくなりました。

2日目は、日本で練習してきた歌やリコーダーを中国の人たちの前で発表しました。中国語の歌詞で「幸せなら手を叩こう」を歌った時は、すぐに中国の人が手拍子をしてくれてびっくりしました。また中国の面白い楽器や不思議な吹き方の笛、とてもきれいに響き合っている歌など、今までに見たことも聞いたこともないものばかりで、もう一度じっくりと聞きたいと思いました。

3日目の夕食は、ホストファミリーとギョーザを作りました。皮から手作りして驚きました。皮を丸くのぼすのが難しく、包み方も自分の家とは違うので初めはとまどいましたが、だんだん慣れていきました。ゆでた酢じょう油で食べましたが、おいしかったです。

4日目は、曲阜に行って孔子の墓や図書館を見ました。孔子の墓はとても大きく、その大きさから、偉大な人だったんだろうと感じました。他にもたくさんの色んな形のお墓がありました。

最終日の5日目は、青少年宮で中国の子供と交流をしました。最初は私達が教えた「ジャンケン列車」というゲームをしたのですが、中国の子ども達がつまらなそうな顔をしていたので「簡単すぎたかな?」と思っていたら、通訳の人が「面白くないのでこちらから面白いゲームを用意する」と言われびっくりしました。前から中国の人は、ハッキリ言うことがとても多いと知っていたけど、ここまですごいとは思わなかったので、日本人とは違うことが面白いと思いました。



日本に帰ってきて、福岡空港から博多駅までのタクシーの中で、団員の友達と中国の思い出話をしました。日本は中国と比べてとても静かで、なつかしい感じがしましたが、中国のことを思い出すと少しさみしくなりました。

私は今回の中国訪問で、自分の国の事を学ぶだけではなく、他の国の文化に触れることがとても重要だと実感しました。

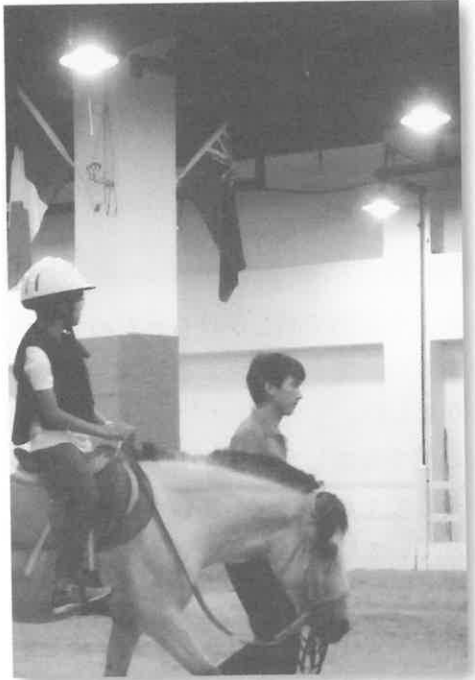
団員訪問記

■ 楽しかった中国

大海小学校6年 横尾 妃花

私は、中国に行くのが初めてで、不安と楽しみな気持ちが入り混じっていました。5日間過ごした中国はとても楽しい所でした。私が中国で楽しいと思った事は、たくさんあります。

1つ目は、乗馬です。私は、乗馬をしたことはなく、小さい馬に乗りました。障害物を飛びこえるのではなく、歩くだけだったけど少しゆれて楽しかったです。馬にさわってみると少し暖かく、毛がふさふさして気持ちよかったです。



2つ目は、大明湖の見学です。大明湖に行くと色々な湖や、たれ木があり自然豊かでした。ボートに乗ったら重量オーバーでしずむかと思いましたがしずまなかったものでよかったです。アザラシがいる湖もあり、人がいっぱい集まっていました。人が多かったけど、迷子にならなくてよかったです。

3つ目は、伊藤さんと内山さんとも合流して他のホストファミリーのみんなと夜ご飯を食べに行った事です。
ジャングァンイー・チュエジュオホア
江冠頤と褚灼华が案内してくれてラーメン屋さんに行きました。日本のとんこつラーメンと少し似ていて、おいしかったです。その後アイスクリーム屋さんにも行きました。アイスクリームは、いちごがのっけていておいしかったです。

4つ目は、水ぎょうざ作りです。水ぎょうざは、2種類作りました。1つ目はねぎと納豆で、2つ目はセロリと卵とねぎです。ホームステイ先のお父さんがぎょうざを焼いてくれました。皮がカリカリでおいしかったです。

また、私がうれしかったことは2つあります。1つ目は、江冠頤が優しく接してくれたことです。手洗いでも部屋に入るのも席にすわるのも、どうぞとゆずってくれました。とても優しいなと思いました。

2つ目は、正しいしせいで大きな声を出せば上手に歌が歌えた事です。私は今までオンチで歌う事に自信がありませんでしたが、中国で歌って少し自信が持てました。

最後に、私はこの中国交流が楽しく過ごせたのはホストファミリーの人や青少年宮の人などいろいろな人のおかげだと思っています。この中国での色々な経験を、これからの学校生活に活かしていきたいと思っています。



「温かさ」「優しさ」に包まれて

山口市立小郡南小学校 校長 岡本 壽之

「当たり前のことをしてだけです」。最終日の昼食会において、5日間にわたる青少年宮職員やホームステイのホストファミリーのきめ細やかで温かいおもてなしに感謝する私の御礼に対する冯思勇氏（済南市青少年宮職員）の返礼の言葉である。彼の飾らない素朴な言葉に熱く心を打たれ、感謝の念と惜別の情がさらに高まった。

今回の5日間の訪問で、子どもたちはたくさんの方に出会い、たくさんの方にお世話になった。「旅は人との出会い」とよく言われるが、団員一人一人がまさしく「人との出会い」の中で人の温かさや優しさを感じ、生涯忘れることができない大きな宝物を得ることができた。

初日の子どもたちは、済南空港に到着した瞬間から、言葉、景色、食文化、生活様式等、見るもの聞くもの全てに新鮮さを感じ、一つ一つに歓声を上げていた。その一方で、日本での生活との違いに一種のとまどいを感じている様子も見えた。そのような時こそ、「チャレンジ精神」が求められる。片言の中国語で話しかけたり、見慣れない食材を使った中国料理を食べたり、自分の置かれた環境に順応しようと果敢に挑戦する子どもの姿に「生きる力」を感じた。「チャレンジ精神」の強い子どもは、早々にホストファミリーと打ち解け、済南市での生活を楽しいものにすることができていたように思う。

今回の交流のテーマは「音楽」である。訪問に向けての事前研修会で、練習を積み重ねてきた5曲を2日目の交流会で発表した。その中の1曲「幸せなら手をたたこう」では、訪問団の子どもたちの歌唱に合わせて、会場からも中国語による歌声が聞こえてきた。音楽が「万国共通の言葉」と言われる所以と、そのコミュニケーション力を感じたところである。済南市青少年宮側からも、歌唱や民族楽器による伝統音楽が披露された。その中でも、唢呐（チャルメラ）の演奏のすばらしさに加えて、その少年の鳥の鳴き声を模写した口技には圧倒された。音楽交流会を通して、音楽のもつ「一緒に楽しむ力」「感動する力」「思いや意図を伝える力」を子どもたちも感じる事ができたと確信するところである。

済南市は別名「泉城」とも呼ばれ、古くから泉を大切にしている街である。「趵突泉」や「大明湖」等の豊かな自然と高層ビル等の近代的な建造物が、対照的に混在している街でもある。現在も超高層マンション群や地下鉄が続々と建設されているが、その際には、泉脈の調査を数年かけて行う等、済南市の発展のために、そして子孫のために泉脈を大切にしていると祝恒氏（済南市人民政府外事办公室）が熱く語られたことが印象に残っている。古きを守り、新しい生活を創造する済南市の努力に大いに学びたいものである。

中国の文化に触れたり生活を体験したりする中で、子どもたちは日本との共通点や相違点に気付き、中国のすばらしさを感じていた。と同時に、日本で「当たり前」と感じていた日々の生活のよさや家族のありがたみも実感することができたようである。福岡空港での「日本っていいよね。安心する。」の子ども言葉からも、そのことが伝わってくる。

旅は、人を成長させてくれる。わずか5日間、されど5日間。子どもたちは、多くの人との出会いの中で確実に、大きく成長した。そして、ホストファミリーを自分の家族と慕い、済南市をもう1つのふるさとと思う気持ちが高まり、済南市が大好きになったようである。最終日のホストファミリーとの別れの際に歌った「ふるさと」では、その歌声に込められた子どもたちの感謝の思いがひしひしと伝わってきた。

今回、このような貴重な機会を与えていただいた山口市及び済南市、そして多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げる次第である。謝辞。



団員訪問記

■ 山口市青少年交流訪問団に参加して

山口仁保地域交流センター（通訳） 戸崎 みゆき

中国へ出発する二週間前、山口市の気温は38.7度。観測史上最高の気温となり、全国ニュースに流れました。猛暑、炎暑、酷暑、災害レベルの暑さと言われたこの夏、私たち10名は不安と期待を胸に済南市へと出発しました。

飛行機が遅れた影響で、済南市へ到着するとすぐに、子どもたちはホームステイの各家庭へと分かれていきました。日常とは何もかも異なる世界へ飛び込んだ子どもたちは、始めのうち戸惑いや言葉の通じないもどかしさを訴えていましたが、日が経つにつれ、ホストファミリーの方とこんな話をしたよ、こんなことを一緒にやったよ、と教えてくれるようになりました。ホストファミリーとは身振り手振りや翻訳アプリでコミュニケーションをとっているようでしたが、言葉がわからないのになぜこんなに通じるのだろうかと思っていると、だんだんと気がついたことがありました。それは、ホストファミリーの方々の、心のこもったおもてなしの気持ちです。

遠い日本から来てくれた子どもたちが、中国での楽しい思い出をたくさん持って帰れるようにと、食べきれないほどの料理を用意してくださったり、あちこちへ案内してくださったり、愛情たっぷりに接してくださっていることがわかりました。

これは、ホストファミリーに限らず、私たち訪問団の引き受けをしてくださった済南市外事弁公室の皆さん、青少年宮の皆さんも同様で、連日の猛暑のなか、移動や食事の手配のほか、心配りの数々に私たちは頭が下がるばかりでした。

訪問の最終日、ホストファミリーの皆さんとの最後の時間、私たちは感謝の気持ちをこめて「ふるさと」を歌いました。歌声に乗せた私たちの思いは、ホストファミリーの皆さんにもしっかりと受け止めていただけた気がします。

済南市は人口約700万人、高層ビルが建ち並ぶ大都市です。一方、人口約20万人、小さいながらも歴史があり文化的で豊かな自然に恵まれた山口市、この全く異なる両市の交流に期待されているものは、一人対一人のつながりを積み重ねて平和の種をまくことなのだろうと思います。

多くの方々の御尽力の賜物であるこの交流が、今後も続き、大きな花を咲かせ、実がなることを願ってやみません。

この度の訪問団の派遣にあたり、温かく送り出してくださった保護者の皆さん、慣れない環境でがんばった子どもたち、団長として訪問団をまとめてくださった岡本先生、そして済南市の皆さんと関係の方々に関心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。



I LOVE JINAN!

山口市国際交流課 課長 山崎 里恵

山東省済南市との青少年交流事業は、次代を担う青少年の国際感覚を育む事業として定着してきた。7回目となる今年は、小学生5人・中学生2人の計7人が参加。子ども達に参加理由を聞いてみたところ、家族と相談し、自分の意思で決めたとのこと。果敢なチャレンジャーたちの引率として行く、自分にとっても初めての中国。「みんなが済南市で元気に活動できるよう、安全第一で！」と、かなりの気負いと一抹の不安を胸に、済南に向かった。

済南市に到着すると、間もなく私の不安は消えた。そこには7月に山口市を訪問してくれた済南市青少年宮の先生方や7人の子ども達と、その家族の暖かい笑顔があった。そう、済南市は孔子の故郷、山東省にある。まさに「有朋自远方来，不亦乐乎（朋有り遠方より来たる、亦た楽しからずや）」。済南市の皆さんは、私たちが済南を離れるその時まで、常に心地よく過ごせるよう、きめ細やかな心配りをしてくださった。



その恵まれた環境の中で、私たちは、済南市青少年宮での音楽交流を始め、様々なプログラムに参加した。市内の名所や孔子の故郷・曲阜を視察したり、豊かな食文化を体験したりする中で、広大な国土と悠久の歴史を持つ中国の素晴らしい伝統文化や人々のおおらかさ、優しさに触れ、日進月歩に成長を続ける現代中国の「今」をリアルに感じる事ができた。

またホームステイでは、十分に言葉が通じない状況の中、子ども達は一人ひとり自分なりに工夫してコミュニケーションをとり、ホストファミリーと寝食を共にした。最初は大きな不安に包まれたにちがいない。でも、ファミリーの皆さんは「おなかが空くことがないよう、不自由がないよう、寂しい思いをさせないよう、済南市で楽しい思い出を作ってほしい」と、家族同様に温かく接してくださった。子ども達が「ファミリーの人達は何故ここまでしてくれるの？」と戸惑いを感じるほどに。

5日間はあっという間に過ぎたが、ファミリーとの絆は確実に生まれた。最終日には、子ども達だけでなくファミリーの皆さんも涙を流し、別れを惜しんでいた。私たち引率者も。

今、訪問団としての活動を終え、日本での平常の生活に戻った今、この5日間の出来事は、子ども達の心の中にどんな彩りを放っているだろうか。

帰路の飛行機で、「絶対、また済南に行く！」という声が聞こえた。この済南市での経験や出会いが、子供たちが世界とつながる足がかりになればステキなことだ。そして、私たち引率者も日ごとにたくましくなっていく子ども達に教えてもらった。「“挑戦”って、ドキドキだけど面白い！」と。

挑戦は連鎖する。この子ども達の“挑戦”を、深い愛情を持って支えてくださった済南市外事弁公室や済南市青少年宮の皆さん、そしてホストファミリーの皆さん方に、あらためて心より感謝を申し上げ、この御恩を、次の交流（挑戦）でお返しすることを宣言したい。

大変お世話になりました！

◎済南市青少年宮の先生方



党支部書記劉青蘭先生(左)



姜永群先生



冯思勇先生

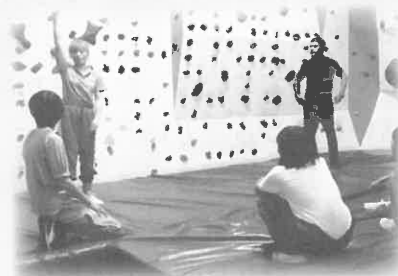
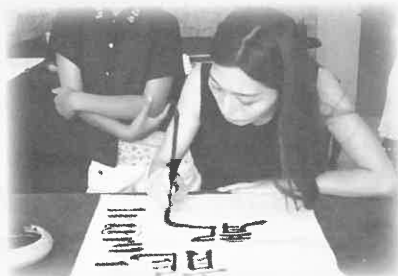


孫衛東先生



尹洪雨先生

■各講座で教えていただいた先生方



◎済南市外事弁公室の皆さん



祝恒さん



董蒙初さん

◎その他の皆さん

曲阜で「三孔」(孔廟、孔林、孔府)を案内して下さったガイドさん



編集後記

音楽が交流のテーマだったこともあり、今年の訪問団員は団長を除いて全員女子。事前研修では、みんなが打ち解けるまでの時間がとれませんでした。済南市に入ってから、いつのまにかひとつのチームとしてまとまり、彼女たちは、躊躇することもなく、好奇心いっぱい、元気にあらゆるプログラムに挑戦していきました。そして、団員のレポートにもつづられているように、ホストファミリーの方々とのおふれあいは、彼女達の心の中に、大切な思い出として深く刻まれたようです。この5日間は、その時々で短くも長くも感じたことでしょう。その様子は、団員一人ひとりのレポートからも感じとることができます。これから世界はますます近くなります。団員の皆さんは、この経験を通じて、確実に世界とつながる一步を踏み出しました。急成長を続ける済南市と同じくらい、もしくはそれ以上に、団員の皆さんの未来は、ダイナミックなものになるでしょう。今回、私たちにこのような機会を設けていただいた中国・済南市の皆さんに、あらためて感謝を申し上げます。非常謝謝大家！
(市国際交流課 山崎 里恵)

平成30年度 山口市青少年交流訪問団訪問記

平成30年(2018年)12月

■編集・発行

山口市交流創造部国際交流課

〒753-8650 山口市亀山町2番1号

TEL 083 (934) 2725

FAX 083 (922) 2198

■印刷 有限会社いづみプリンティング

